

●●主な記事●●

- 2面 軽井沢セミナー
- 3面 保団連全国会議報告
- 4面 本紙読者アンケート特集
- 5面 高齢社会をよくなる女性の会
- 6面 開業医はなぜ自殺したのか
- 7面 黄色いハガキ
- 8面 有限会社ヒポクラテス

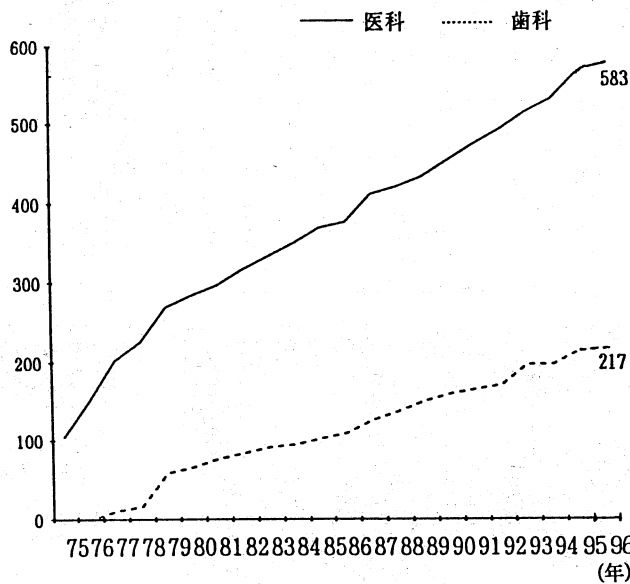
発行所  
石川県保険医協会

金沢市尾張町1丁目9番11号  
〒920 尾張町レジデンス2F  
電話 (0762) 22-5373番  
発行人 高松弘明  
印刷所 ユーアイ印刷

# 石川保険医新聞

## 800人会員達成

### 国民とともに総力をあげて 医療・社会保障の改善を



十月五日、石川県保険医協会の会員数が八百人になりました。今年三月二十六日に開かれた第二十一回定期総会時に、着実に大きな団体に育つていきました。

「開業医の権利と経営を守る」「国民医療の充実を」という二つの目標は、

全国の保険医協会の共通の目的であり、石川協会も二十年前から一貫してそれを守り続けています。

この二つの目的は、保険医協会の会員数を着実に増やしてきたと同時に、県内のさまざまな団体・個人、とりわけ保健、医療、福祉の分野で活躍される方々との関係を充実させてきました。その結果、医療は保健・福祉との連携の上で成り立ち、それらの発展のために国民と共に運動を進めるといふ、基本的かつ好ましい循環を作り上げてきたのです。

石川協会が発足した二十年前には予想もできなかった八百人会員を達成した今、一層努力していく所存です。

会員の皆様、本紙をお読み、心より保険医協会の活動への理解と協力ををお願いするものです。

### 富山個別指導事件が一冊の本になりました

## 開業医はなぜ自殺したのか

今すぐ、本紙6面をご覧ください。

### 持論

中医協は今年四月「保険診療における審査、指導・監査の在り方」に関する報告書をまとめ、厚生省はこの報告書に沿って指導大綱、監査要綱の見直しを始めている。今回の検討の目的として、厚生省は一九九四年の診療報酬改定で大部分の承認事項が届け出制に移行したことにより、指導・監査の在り方の見直しの必要性に迫られたと述べているが、個別指導を苦に自殺したあの痛ましい富山事件の影響もあつたことが十分に予想できる。富山個別指導事件は国会でも取り上げられ、厚生省は「指導と監査が同じように

### 事件再発を防ぐため 指導の監査化に歯止めを

で、指導の監査化を一層推し進めるものに外ならない。そもそも指導と監査は、目的も方法も全く異なる別個の手続きである。指導とは「保険診療を医療担当者に懇切丁寧に周知徹底させる

今回の報告書では、現行では「監査の運用が厳格化すぎ、機動的、積極的対応がとれない」として「度重なる指導によって診療内容または診療報酬の請求に改善がみられないもの、お

## 保険医年金<sup>た</sup>募集<sup>中</sup>

1995年度募集締め切り：10月25日

◎お申し込み・お問い合わせは協会まで ☎0762(22)5373

### 医心凡語

徳川幕府の時世にも、お寺の須弥壇(しゅみだん)の下に、成仏を願う半病人の信者を寝かせ、肛門から槍を腹腔に向けて突き刺して極楽往生(安楽死?)を遂げさせる儀式があつた。無知な民衆をたぶらかす手法で、半ば公然と行われていたのである。その間、読経があげられ、ジャンジャンと鐘(どら)がつき鳴らされ、信者のものがきも断末魔の悲鳴も掻き消された。

オウム真理教事件もこれと同工異曲である。時代も離れ、そのテクニクも近代科学そのものであるが、教祖の麻原は根からの詐欺師。信者から金を巻き上げるばかりでなく、麻原のDNA溶液なる液体を飲ませるなど、まやかしの化学を悪用したマインドコントロールが駆使され、信者の心をつかんだ。洗脳やだましのテクニクは、打てば響くといった天才的術がそれに輪をかけて。大勢の善男善女が、この狸親父にたぶらかされ、出家していったのが現実である。

それにしても殺人鬼オウム真理教と果敢に戦った坂本弁護士一家が、拉致惨殺される前に、当局はなぜ救えなかったのか悔やまれる。世界最古の法句教典(Dharma Pada)の中に、「己こそ己の寄る辺ぞ。己を措きて誰に寄る辺ぞ。己に目覚めた己にこそまこと得がたき寄る辺をぞ得ん」とある。読むほどに味わい深き一節である。

九月に入り、猛暑も嘘のようになさやかな季節となりました。理事会は今日も熱心な理事の熱気でいっぱいです。

まず会員が七百九十五人となったことが総務部より報告。九月中に八百人達成を。頑張ろう。経営・共済部からは不況の折から、保険医年金の予定利率の引き下げは必ずとの暗い報告。若い開業医ほど老後の暮らしは大変。皆さん、今から蓄えましょう。

有限会社ヒポクラテスの準備は予定通り。歯科部の開催した「顎関節症講演会」は大成功だったとのこと。歯科・医科合

## 九月度理事会点描

ついに石川県保険医協会の会員数が、八百人目前となった。

一口に八百人といってもこれは大変なことである。特に創成期のころの苦勞は、いかばかりであったか、今春刊行された「石川県保険医協会二十年史」を読むとその一端が偲ばれる。とにかく八百人会員の期待に少しでもこたえるよう役員の一

人として心していかねばならないと思う。今年度も後半となり保険医年金の募集開始、経営・共済部の第二回職員雇用に関する懇談会、医療福祉部の在宅医療講演会などの準備も着々と進んで

わけて四十九人の参加。これからもしどしどし良い企画を予定していきますので、乞うご期待。歯科部では材料購入価格の実

### 第8回理事会 (有)ヒポクラテスが設立

(9月5日・13人出席)

態調査も行っており、今後、会員への情報として有効活用していく予定です。 學術・保険部からは耳

処置の扱いで討論。詳細は十月号「黄色いハガキ」をご覧ください。医療福祉部からは『病院マップ』の大改訂の提案。十月二十九日の在宅医療講演会開催の詰めを行う。機関紙・文化部からは秋のレクリエーションの申し込みが定員を大きく上回る盛況との報告。イカ釣りも成功だったとのこと(ちなみに私も参加したが一番釣れなかった)。議長からの話題提供は、協会活性化へ具体的行動をとる。「言うは易し行は難し」、会員の皆さんのご協力を切望します。(大平 記)

### 第9回理事会 800人会員にリーチ!

(9月19日・14人出席)

いることが報告された。ところで前回、大平理事より提案された、「協会組織活性化のための具体策」が再度話し合われ

た。具体的には、新規開業医のための医業を営む上でのいろんな悩み・疑問を忌憚なく話し合える懇談会を開くこと、協会

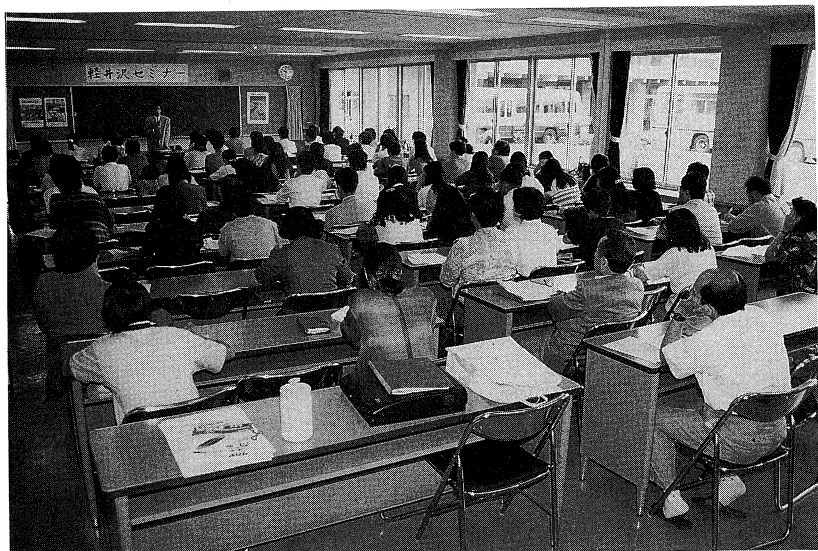
各々が新しい会員が参加できるような企画を進めることが決められた。八百人の会員増加については、協会存在意義がますます高まってきたと同時に、医師急増による新規開業医の増加が要因として考えられる。しかしここ数年、新たに協会の役員になって仕事してくださる新規開業医の方が少ない。役員一同も新しい血を求める努力が必要であるが、ぜひ、どんな些細なことでもよいから保険医協会の活動をちょっとのぞいて見ようと思われ

る方、ご一報ください。大歓迎します。(喜多 記)

## 第8回軽井沢セミナー

「在宅ターミナルケア」「摂食介護」などで保健・医療・福祉関係者ら92人が交流

平田米里 (野々市町・歯科)



毎年開かれている軽井沢セミナー (9月2・3日)

第八回目の今回は、在宅ターミナルケアと究極の食論、すなわち摂食介護の実習という、最先端を行く内容であった。全国から保健婦、歯科衛生士、看護婦、医師、歯科医師ら九十二人が参加した。

ヘルスカウンセリング学会会員の渡辺歯科衛生士のお弁当(特注)を用いての、摂食における箸・スプーンの使い方や、ハンバーグ・肉・たくあん・レタス・レーズン・プリン・御飯・お湯・冷水における口唇・舌の使い方の実習考察は初めてのことで、おもしろかった。

一方、井益雄(い・ますお)先生の在宅ターミナルケア、死と共にある医療と福祉は重い題材で、家族論、文化論、日本人論にまで話が及び、有意義な講演であったと思う。少し紹介

### 囲碁解答

駄目詰まりで黒死となります。8(4) 9(4の下に取り返す) 10(3)

先生は佐久総合病院勤務時代には、在宅ケア実行委員長を務め、本年度から、全室個室の特別養護老人ホームの職員として、所長の役も果たしている。

まず、世界最長寿命となった日本で、ほとんどの人の死に場所が病院というのはどういうわけだろうかという疑問を投げかけた。

ICU収容の重症の患者さんや老衰老人も、家族は、面倒なことは他人(病院)に任せきりで、なんとか生かすように医師に注文をする傾向が強いようだ。在宅だと、種々の条件で、「とにかく生かしておいて下さい」とは言えなくなるはずだし、一方、医師も人間は必ず死ぬ。死ぬ運命と決まっているときに、無意識に医療行為をしようののではないか。

特に老衰のときは、病院でチューブで摂食させてエンドレスと思えるくらいに単なる寝たきりの生命を与えてしまうよりも家で自然死を迎える方がよいのではないか。

日本は、「延命と死亡」観についてもっと議論すべきではないかと訴える。

家族と病院の「老人の押し付け合い」で、いたるところを転々とする老人。老人の介護はいついどうなるのか心配だ。やはり介護は家族がして、在宅で死を迎えるのが良いのではないかと提案した。

しかし、これに反論する医師もいた。道徳の崩壊している日本では、子供と一緒に生活する老人は不幸である。義務感だけの冷たいケアでは「寝たふり老人」化になるだけだ。妻や子が

老人を介護するというのは無理である。二十四時間介護することより、五、八時間、外へ仕事に出掛け、その間、ヘルパーに任せる。介護しないことによって逆に愛情が生まれる。女性に任せきりにするより女性の生き方を理解した方法を探る方がベターである。これらの指摘から、問題の大きさ、深さを思い知らされた。ヘルパーの数、その制度化など問題山積の現在である。保険医協会がどう役立

### 便利グッズご紹介

## 安全、清潔、便利です

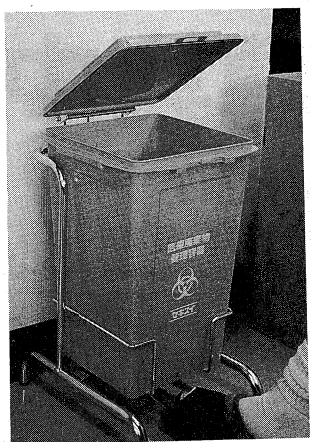
メディカルボックス

当病院では、感染性の医療廃棄物は一週間に一度、石川県医療廃棄物事業協同組合に回収及び処理を依頼しています。当病院の医療廃棄物安全管理委員会では以前より問題になってきたのは、感染性医療廃棄物の容器(ダンボールの二十リットル)が患者さんから中が見える、毎回手で蓋を開けて中へ入れないといけない、悪臭がする、ダンボールであることの安全性に疑問があることなどが指摘

先日、石川県医療廃棄物事業協同組合より紹介のあった「メディカルボックス」を試験的に使用したところ、今までの問題となっていたことがほとんど解消されることになり、八月の安全管理委員会でもさっそく採用することが決まりました。

現在、外来及び病棟でも使用しています。容器が一杯になった後は、蓋も完璧に密封ができ、保管するにも安全です。

お問い合わせは保険医協会までお電話で  
0762 (22) 5373



### 保団連 病院・有床診療問題交流集会 第13回

## 社会保障の危機

### その打開策は？

原 和 人 (寺井病院・外科)

八月二十六日、二十七日と切実な発言がなされました。東京新宿にある三省堂文化会館で保団連第十回病院有床診療問題交流集会が開催されました。各論では議論できない。看護婦は余ってくるはず」と医療現場を全く無視した発言を行い、参加者の怒りを買いました。

二十六日は阿部常任幹事からの基調報告の後、厚生省保険局の野村氏を交えて「付添看護廃止問題シンポジウム」が行われました。ある過疎地で頑張っている病院長からは、「付添看護を廃止して新看護に移行しようと思っても看護婦が集まらず、付添婦なしでは地域医療が成り立たない」という苦しい現実を訴えました。

九月十日の午後一時半より、東京千代田区の日本教育会館で、保団連主催の診療報酬引き上げ、国民医療危機突破9・10保険医討議集会が開催された。

う名のもとに患者負担を増やして、公的医療費を抑えて、民間活力に依存する医療をめざそうとするもので、到底、承服できるものではありません。また、病院が減ってきているという状況の下での分析でしたが、診療報酬をはじめとする厚生省の医療政策によって、いや応なしにそのようにさせられているというのが現実です。その点での厚生省の役割について質問すると、要因の一つかもしれないが、今回はそれには触れないという答でした。現状の医療状況があなたも自然現象のように述べている点は、厚生省のまやかしの外には、午後には「あなたの病院・入院医療」についての講演がテーマで、指導・監査に

### 熱気あふれる会場で 今後の運動を討議

会長 高松 弘明 (金沢市・内科)

九月十日の午後一時半より、東京千代田区の日本教育会館で、保団連主催の診療報酬引き上げ、国民医療危機突破9・10保険医討議集会が開催された。会場は、全国五十一協会から医科百八人、歯科三十人、六人に事務局長を合わせ総勢三百十人の熱気ではちきれんばかり。相変わらず、例によって例のごとく、保団連の熱い雰囲気には圧倒され

## 在宅医療講演会のご案内

- テーマ **これからの在宅ケア**
- 講師 **岐阜県保険医協会理事 浅野 靖 先生**
- と き **10月29日(日) 午前10時～12時半**
- と ころ **金沢都ホテル 7階 「飛翔の間」**
- 参加費 **1,000円**  
(保団連発行『在宅医療点数の手引』進呈)
- 参加対象 **医師及び医療従事者**
- 申込み **下記まで電話又はFAXにて、参加人数をご連絡ください。**
- 主 催 **石川県保険医協会**  
☎0762-22-5373 FAX0762-31-5156

### 【講演レジュメ】

## これからの在宅ケア

浅野 靖

1. 在宅医療の歴史  
最近の約20年間の変遷
2. 当院での在宅医療  
訪問看護部の活動の実際
3. 連携について  
他院・科、福祉との連携の仕方
4. 医療行為はどこまで許されるか  
看護婦の医療行為、医療事故の問題
5. ターミナルケア  
ガンと老衰の在宅死、当院での取り組み、採算
6. 訪問看護ステーション登場の意味  
なぜ訪問看護ステーションはできたのか、そしてどうなるか
7. 私的介護保険について  
成立の見通し、導入後どうなるか
8. これからの在宅ケア  
開業医はどうあるべきか (在宅と専門化)

堀場会長の格調高い基調講演は全員が納得、次いで北海道から九州までの九協会から、実態と要求を中心とする診療報酬引き上げに関する切実な報告がなされた。また、京都歯科協会からは指導医療官汚職事件、兵庫協会からは阪神・淡路大震災のその後の悲惨な状況が特別に報告され、この重大さをあらためて認識する機会となった。

フロア発言は一人三分だったが、あちこちからの挙手は引きもきらず、ついに石川協会からの発言の機会を失ってしまった。最後に、翌日の国会、政

病院長の格調高い基調講演は全員が納得、次いで北海道から九州までの九協会から、実態と要求を中心とする診療報酬引き上げに関する切実な報告がなされた。また、京都歯科協会からは指導医療官汚職事件、兵庫協会からは阪神・淡路大震災のその後の悲惨な状況が特別に報告され、この重大さをあらためて認識する機会となった。

### 全国審査・指導問題担当者会議

### 人権尊重を柱に 審査・指導改善を

九月二十四日、台風さわぎの中、飛行機が定刻通り無事発着するのを気にしながら保団連の全国審査・指導問題担当者会議に参加した。この悪天候にもかかわらず、北海道から沖縄までほぼ全員の参加者に驚いた。

午後からは、審査分科会と指導・監査分科会に分かれ、私は審査分科会の方に参加した。国保旭中央病院の「保険診療マニュアル」がテーマとなった。これは地方公共団体によって運営されている国保旭中央病院の経営を守るために作られたものであるが、支払側にこのマニュアルがほとんど行き渡り、逆利用、つまり一般基準化されようとしている点が問題であり、診療に必要な処置、検査、処方などを妨げるものにしてはならないという意見がほとんどであった。

申 東 奎 (金沢市・外科)

基調報告では、①指導大綱と監査要綱の改定作業が

保団連などの働きで大幅に遅れており、さらに富山、京都の事件が重なり、先送り状態となっている。②しかし、支払基金や国保連の支払側審査委員による任意面接や個別指導に近い知事命令による面接などが考えられており、③指導は長期未指導者やレセプト一件あたり高点数の機関や取り扱い件数の多い機関を対象とし、指導を受けなければ監査となつてしまっている。④保険診療は、あくまでも「療養担当規則」などに基き診療側と支払側が成り立つており、この「点数表の解釈」などを診療側は十分認識し、内容を熟知していること。⑤支払側に対し、医学的審査を軽視して低点数レセプトを求める経済審査を行わないよう働きかける必要がある。納得できない審査は再審査請求を積極的にやっていく必要がある。そして、⑥富山、京都の事件のごとく、審査・指導には人権の尊重と行政手続法に則り適切になされるよう改善されなければならない、と述べられた。

池永弁護士は、主に行政手続法について講演され、この法によって審査・指導は適切になされるべきであり、一方、診療側もこの法によって審査・指導を拒否できないとされた。

午後からは、審査分科会と指導・監査分科会に分かれ、私は審査分科会の方に参加した。国保旭中央病院の「保険診療マニュアル」がテーマとなった。これは地方公共団体によって運営されている国保旭中央病院の経営を守るために作られたものであるが、支払側にこのマニュアルがほとんど行き渡り、逆利用、つまり一般基準化されようとしている点が問題であり、診療に必要な処置、検査、処方などを妨げるものにしてはならないという意見がほとんどであった。

その他、医学的診療と保険診療を熟知し、おかしいと思われる返戻には再審査請求を行おうということであった。

# 石川保険医新聞読者アンケート

## 88人から回答寄せられ 責任の重さを再確認

機関紙・文化部長 小 森 貴 (金沢市・耳鼻咽喉科)

このほど行われました「石川保険医新聞」読者アンケートの集計結果がまとまりましたのでお知らせします。今回は八十八人の会員から回答を頂きました。謹んでお礼申し上げます。

「毎号どの程度読まれますか」という設問に対しては、よく読む、ときどき読むが合わせて八八・六％あり、編集部一同、責任の重さを感じています。

「先生のほかにもお読みになる方はおられますか」の項では、奥様・ご家族も読まれる方が三五・五％、従業員も読むと回答された方が二・四％もあり、患者さんにも読んでもらうなどの回答と合わせると三人に二人は会員以外の方もお

読みになっておられるようです。開業医は家族や従業員が一体となっていないければ成り立たない事業です。特に奥様方にも親しまれる新聞作りを心掛けたいと思っています。

よく読まれる記事をお尋ねした設問では、「お訪ねします」、「会員投稿」、「医心凡語」が一位から三位までを占めています。忙しい診療の合間には、やはり肩の凝らない読み物が好評のようです。

四位には「持論」が入りました。石川協会の基本的主張ともいえるべき「持論」は、毎号、その内容を理事会で協議し、その決定を踏まえて掲載されています。いわば「社説」にあたる「持論」が半数近くの会員に読まれていることは、そのまま協会に対する期待の大きさを示していると理解されます。執行部一同、一層の精進を求められているといえます。

ながら、やや低い結果になりました。保険審査問題は協会の最重要課題であり、アンケートの結果を厳しく受け止めています。編集部では、なによりも会員の皆様に親しまれ、よく読まれる新聞を目指して、できるだけ多くの方々のご意見を掲載していこうと思っ

ています。このため、今回のアンケートでは「ご投稿をいただけませんか」という設問を設けました。この結果三十八人の先生方から投稿しても良いというお返事を頂戴することができました。まことに心強く、喜ばしく思っています。

最後に、これから取り上げたら良い企画や要望の項目も多くのご意見をいただきました。これらのご意見はそのまま下に掲載致しました。アンケートに建設的なご意見をお寄せ下さった会員の先生方に改めて深謝致しますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

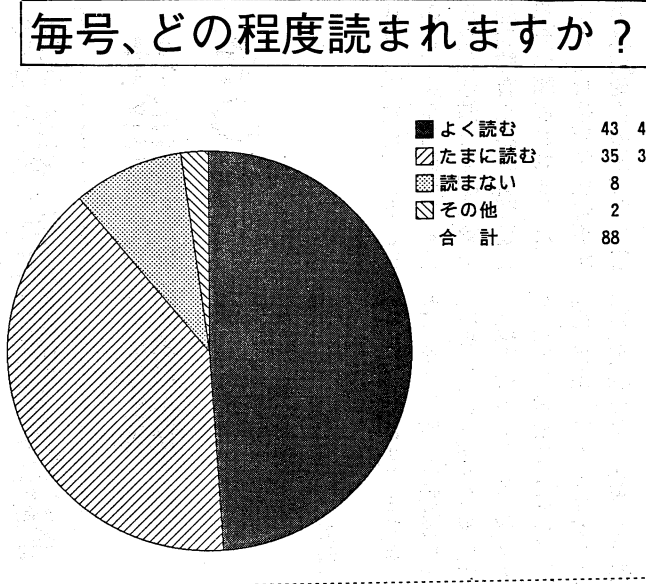
「黄色いハガキ」は残念

すようお願い申し上げます。

### 新年号原稿募集!

本紙一九九六年度新年号の原稿を募集します。新年号にふさわしい記事や写真などをどんどんお寄せくだされば幸いです。

原稿締め切り 十二月一日(金) 必着



保険請求のテクニック  
 についての解説、専門外疾患の解説。  
 医療の制度、経済の現状と将来的展望について、常に最新の情報を速報する必要があります。高まってきている。(そのためには、情報専門号を月刊してもよいくらいだ)  
 もう少し診療技術とか、工夫についての記事があれば。  
 医師会のあり方、進むべき方向などを検討する企画。  
 医療の将来について、皆不安が強いと思えます。それに対してどんな対策を考えているか知りたいものです。また、老健施設などを併設して老人社会に対応していってほしい方がいます。それらの人の体験談などを知りたい。学会や医学に関する講演会などの予定。  
 社会保険の請求の仕方についてとか、臨床講座(千葉歯科保険医新聞)とかがあればいいと思います。  
 私は医療情報処理の研究をしています。先日、の審査に関するアンケート調査は興味深いものでした。レセプトの病名漏れに対する一つの予防策はレセコンのチェック機能の有効利用だと思っています。各

レセコン、メーカーのチェック機能の差異について比較検討してみたい企画はどうでしょうか。そのような機会には協力させていただきます。  
 ・開業医(診療所)の病院マップを、皮膚科・泌尿器科、内科・外科のように、標榜科が複数の場合、専門が分からなくて紹介しにくい。また、内科全般、小児科全般という表現  
 ・新聞の発行はいつもご苦勞なことだと思っています。頑張ってください。  
 ・よく検査、企画など頑張っておられることを感心いたしております。若い方の希望を取り上げたい。

の選択ができます。また、病院のPRにもなると思うのですが。ただこういう治療や検査をやっていますでは、毎年発行する意味が少くないと思います。  
 ・保険医協会は先の大戦や、核兵器に対する見解が極めて画一的でワンパターンである。必ずしもそのような見解の読者はばかりではない。もっと様々な弾力的な意見を求めたい。  
 ・経営面:「上手な経費の使い方」、「医薬分業について」などシリーズ化して載せると読者が増えるように思う。  
 ・②娯楽面: 詰め碁、ゴルフ談義 etc.:  
 ・建値制度に問題あり。産婦人科はいつも枠外になってしまふ。当新聞も同じ。  
 ・四年か五年に一度くらいで、会員の顔写真と家族構成、各院長のモットーなど、名簿を発行したらどうでしょうか。みんなの考えや、情報が身近に感じられますから。  
 ・余暇の使い方、時間の工夫、診療上の小さな工夫、患者さんとの会話、エピソードなど、地域の特徴を感じられるような気楽に読めるものがあれば読みたい。  
 ・医療に関する地域の埋もれた文化の発掘。

本音で取り上げるような企画があれば...と思います。  
 ・歯科の原稿内容はつまらない。  
 ・余暇の使い方、時間の工夫、診療上の小さな工夫、患者さんとの会話、エピソードなど、地域の特徴を感じられるような気楽に読めるものがあれば読みたい。  
 ・医療に関する地域の埋もれた文化の発掘。

### アンケート意見欄から

#### ○請求テクニックの解説を

#### ○常に最新情報を

#### ○若い会員の希望を

#### ○本音の企画を

#### ○余暇の使い方を

は避け、その中で専門項目が分かるように、あるいはその診療別の科数。  
 ・病院マップについて、一医院の開業医として病院の情報をもう少し詳しく知りたいものです。たとえば、胃の内視鏡の件数、内視鏡による治療の件数、手術件数(内容も)、PTCAなどの件数など、その病院の治療実績が分かれば、さらに病院  
 げてください。  
 ・今まで通りでよい。そんなに張り切らなくてよい。  
 ・今のままでよい。スポーツサークルの情報などあればよい。  
 ・「文句コーナー」、「他科医に聞きたい診療のコーナーポイント」、能登地区での食べ歩き、歴史探訪など。  
 ・会員が今最も悩んでいること、または医療行政に望みたいことなど

# 第14回高齢社会をよくする女性の会全国大会

## シンポジウムが金沢で開催

### 女性・老いの「いのち」をテーマに二〇〇〇人が参加

# 福祉国家は女性の手で

江守道子(金沢市・歯科)

「高齢社会をよくする女性の会」(代表・樋口恵子) 二千人を超える女性参加者が主催する第十四回全国大会が九月九日・十日の二日間、金沢市観光会館で開かれた。『いのち』をテーマに金沢市観光会館で開かれた。極めて意義深いものであり、



超満員の金沢市観光会館で開かれた「第14回高齢社会をよくする女性の会」(9月9・10日)

「高齢社会をよくする女性の会」(代表・樋口恵子) 二千人を超える女性参加者が主催する第十四回全国大会が九月九日・十日の二日間、金沢市観光会館で開かれた。『いのち』をテーマに金沢市観光会館で開かれた。極めて意義深いものであり、

「高齢社会をよくする女性の会」(代表・樋口恵子) 二千人を超える女性参加者が主催する第十四回全国大会が九月九日・十日の二日間、金沢市観光会館で開かれた。『いのち』をテーマに金沢市観光会館で開かれた。極めて意義深いものであり、

「高齢社会をよくする女性の会」(代表・樋口恵子) 二千人を超える女性参加者が主催する第十四回全国大会が九月九日・十日の二日間、金沢市観光会館で開かれた。『いのち』をテーマに金沢市観光会館で開かれた。極めて意義深いものであり、

「高齢社会をよくする女性の会」(代表・樋口恵子) 二千人を超える女性参加者が主催する第十四回全国大会が九月九日・十日の二日間、金沢市観光会館で開かれた。『いのち』をテーマに金沢市観光会館で開かれた。極めて意義深いものであり、

「高齢社会をよくする女性の会」(代表・樋口恵子) 二千人を超える女性参加者が主催する第十四回全国大会が九月九日・十日の二日間、金沢市観光会館で開かれた。『いのち』をテーマに金沢市観光会館で開かれた。極めて意義深いものであり、

「高齢社会をよくする女性の会」(代表・樋口恵子) 二千人を超える女性参加者が主催する第十四回全国大会が九月九日・十日の二日間、金沢市観光会館で開かれた。『いのち』をテーマに金沢市観光会館で開かれた。極めて意義深いものであり、

### 第1分科会報告

## 住み良い街づくりは保健・医療・福祉の充実で

事務局長 神田順一

第一分科会には井上英夫金沢大学法学部教授が進行役となり、長野県・厚生連佐久総合病院、岩手県・沢内村病院、広島県・公立みづき総合病院の各病院長からの報告が看護学、医療ソーシャルワーカーの立場からのコメントの形で行われた。

佐久病院院長の松島松翠さんは、五十年余りにわたる佐久病院のあゆみ、とくに健康管理活動、周辺自治体の住民健診や在宅ケア活動を紹介します。保健・医療・福祉が連携する総合的拠点の整備のもとに地域ケアのネットワークづくりを進めていること。さらに過疎化と荒廃が進む農村の再生も展望して、健康・教育・文

化を中心にした村おこし、若者も高齢者も定住できる街づくりに取り組んでいるとの報告があった。豪雪と貧しさで乳幼児死亡率率県内一の無医村から、「生命尊重の村」へと発展してきた沢内村の増田進さんは、病院長と健康管理課を兼務している。病院の中に保健・医療・福祉の担当課を移し、職種による垣根をなくして、統一した在宅ケア活動を進めている。病院が核になって保健・医療・福祉の統合を進め、「待つ二十四時間体制の在宅ケア」に取り組んでいる。山口さんは、家族介護は限界に来ている、高齢者施設や制度

「生命尊重の村」へと発展してきた沢内村の増田進さんは、病院長と健康管理課を兼務している。病院の中に保健・医療・福祉の担当課を移し、職種による垣根をなくして、統一した在宅ケア活動を進めている。病院が核になって保健・医療・福祉の統合を進め、「待つ二十四時間体制の在宅ケア」に取り組んでいる。山口さんは、家族介護は限界に来ている、高齢者施設や制度

「生命尊重の村」へと発展してきた沢内村の増田進さんは、病院長と健康管理課を兼務している。病院の中に保健・医療・福祉の担当課を移し、職種による垣根をなくして、統一した在宅ケア活動を進めている。病院が核になって保健・医療・福祉の統合を進め、「待つ二十四時間体制の在宅ケア」に取り組んでいる。山口さんは、家族介護は限界に来ている、高齢者施設や制度

代表の樋口恵子氏がコーディネーターを務め、パネリストは東京大学教授の上野千鶴子氏、シナリオライターの小山内美江子氏、神戸大学名誉教授の早川和男氏、NHKアナウンサーの古屋和雄氏、兵庫県立看護大学学長の南裕子氏、広島県公立みづき総合病院院長の山口昇氏が務められました。それぞれの体験や経験を踏まえ、命の大切さを主張され、あらためて生きることの意義を考えさせられました。

「高齢社会をよくする女性の会」というタイトルに、ここに参加するまでは、なぜ「女性が」高齢社会を良くするのかと、いささか疑問でした。しかし、今大会の発行委員長の梶井幸代氏によると、「北欧の女たちは、福祉と教育の大臣のポストには男には渡さないと言います。かくして福祉国家は生まれたのです」と。一人ひとりの女性が、また世界の女性が、今後進むべき方向を何より示唆しているのではないのでしょうか。

間格差が大き過ぎる、いつまでもどこでも誰が必要なのサービスを受けられる新しい介護システムをつくる必要があると、強調された。その際に問題になるのが、①マンパワーの確保、②財源の確立、③保健・医療・福祉の一元化である。これには、市町村長の理解とヤル気が一番大事と指摘された。兵庫看護大学学長の南裕子さんは、三人の病院長の報告について、人口規模が小さいからやりやすいのではという疑問に対し、北欧の視察体験から、五十万都市のオランダでも二十四時間訪問看護体制が確立している。要は自治体の大小を問わず、やり方次第で可能であると述べられた。高齢者には自分の意志で自分らしく死ねるか、という問題が大きな関心事となっている。これには訪問看護と福祉の連携が大事。二十四時間在宅介護システムを確立する必要がある。それには市町村長の姿勢がカギであり、皆さんも市町村の選挙には関心をもって欲しい。そして「二十一世紀はケアすることが価値のある時代になってほしい」と切々と訴えられた。

日本ソーシャルワーカー協会理事の中村雪枝さんは、高齢者虐待調査結果にもとづき、地域の機能連携が進んでいないために家族に任せがきけている。とくに連携の前提となる、施設の基盤整備の遅れ、制度間の格差、在宅と施設の介護サービスの不公平、サービスの量が不十分など問題点を指摘された。現場に則した機能連携のためには、コーディネーターする人材が求められている、と強調された。一方、参加者から「住民自身による地域づくりが大事」「自宅で死にたいという高齢者への対応について」「職種によるナワ張り意識をなくしてほしい」「高齢者のプライバシーは？」

上記全国大会の内容が、来年、本になります。シンポジウムや分科会のすべてが来年、ミネルバ書房から出版されます。出版後、本紙でご案内しますのでご期待ください。

近日発売

# 〔ルポルタージュ〕 富山個別指導事件の真実

## 開業医はなぜ自殺したのか

### 類例のない指導・監査の実態報告書

— 石川協会がおすすめします —

会長 高松 弘 明

とにかく、保険診療に携わっている、また、これから携わろうとするすべての医師は、ぜひ読んでください。1973年（昭和48年）に、苛酷な人権無視の指導という名の取り調べに泣いた金沢市の新規開業医が、友人とともに、医師会員大多数の署名を添えて、指導改善の要望書を医師会を通して行政へ提出したことを思い出します。

そのころと何にも変わっていない、いや、もっとひどくなるようとしている指導・監査の問題点を、これほど事実に沿って正確にあぶり出した報告はありません。

保険医一人ひとりが、指導・監査の実態を知ること以外には、保険診療の明るい展望は開けないでしょう。

本書を推せんします

医学博士 糸 氏 英 吉

東洋大学教授 一番ヶ瀬 康 子

NHKアナウンサー 古 屋 和 雄

矢吹紀人・著/ あけび書房・刊  
四六判・220頁、定価1,800円  
(送料別)

すべての保険医に、ぜひ読んでいただきたい一冊です

ご注文は富山県保険医協会まで直接お申し込みください

☎0764 (42) 8000 / Fax0764 (42) 3033

「富山個別指導事件」については、この二年間に富山県保険医協会はじめ、保団連・全国の協会やマスコミなどで詳細に報道されてきたので、おほかたの読者はすでにご存知と思う。この事件の克明なルポルタージュが、このたび発刊され、『全国保険医新聞』付録（九月二十五日号）で紹介され購入申込書も付いている。従って本稿では視点を変えて、いまままで公表されなかったと思われる真相に触れた部分を、本書の中から拾い上げてみよう。

川腰医師はそれまで富山県保険医協会の入会勧誘には一切応じなかったのに、自殺の四日前に協会事務局長を呼んでいる。だがすでに彼の精神状態は、アドバイスを理解できる状況ではなかった。通夜の席で義兄の医師は「個別指導が原因としか思えない。」と事務局長に断言した。これが「真相を糾明しなければ…」と協会が決意した発端であるという。

十一月十五日、立山町千垣の患者一同は、三百九十六筆の署名と医師早期派遣の嘆願書を県厚生部へ提出し、U医師は出張診療申請を保健所へ提出したが、二週間後、「県としては認めません」の返答であった。同じ日にN医師は相談窓口要望書を県医師会に提出したが何の反応もなく、二十五日の県郡市医師会協議会の場でも事件は話題にも出なかった。

十月二十八日、郡医師会が要望書を、十月二十九日、保険医協会が抗議文と声明文を県厚生部へ提出し記者会見したことを各新聞が報道したが、県保険課長のコメントは、「個別指導に対する医師からの改善報告書が出され決着している。指導も適正に行われ、行き過ぎはなかったと信じる」であった。

一方、県医師会からはN医師のもとへ理事が訪れたが、事件の真相を明らかにするより郡医師会の動きを探る感触だったという。さらに驚くべき事実として、十月二十九日から、三回にわたって県警本部と地元警察の関係者が、N医師のほか同日に指導を受けたK医師、S医師宅を訪問し、要望書提出の経緯や郡医師会の行動予定などを聞いたという。

### 富山個別指導事件のすべてが今、解き明かされる

—二度と不幸を繰り返さないために—

が医療法人の解散請求を出した時期と前後して、県は遺族に前院長時代からの全カルテの提出を迫ってきた。一医院のカルテを県が押収した前例はない。遺族が一旦拒否したところ県は、「カルテを提出しなければ医療法人解散の許可証を渡さない」と強硬手段に出た。この行政の冷酷さの中に、事件の真の当事者が誰かを感じると、著者は記している。

十一月二十二日の記者会見と十一月三十日の県議会でも厚生部長は、「技官に暴言はなく、指導に問題はなかった」と発言しながら、一方で、二十四日に「厚生部長見解」なる文書を県医師会と保険医協会に送付し、保険課と県医師会幹部が後任技官探しを始めていた。

質問した時の厚生省保険局長の返答は、「県からの報告によると、そういうことは発言していない」と指摘している。「個別指導にある程度の厳しさは必要であり、度が過ぎていたかどうかは難しい判断だ」であった。

最後に、事件発生以来、一切、公の場所に登場せず、何のコメントも出さなかった一柳医療技官自身の去就に触れる。「もともと一年契約であり、高齢でもあるので…」との行政の説明とともに、二十一年間在職した八十歳の技官は一九九四年三月に退任した。そのあと某公的機関に非常勤医師として就任している。

著者は一九九五年春のある朝、その医療機関で一柳医師に面会した。（個別指導や監査のあり方についてご意見を伺いたい）

「そういったことについては、私は公的立場にいたから、いろいろな人に迷惑がかかるので、喋れないことになってきているのです。医者を傷つけることにはなるから」

押し問答がくり返されたあと彼はこう言った。

「厚生省からも県厚生部長からも、喋るなど言われているんです」「だから私が職務で書いた文書や書類はすべて千切って捨ててはあります」「（川腰先生の事件についてもご意見を伺いたい）」

一柳医師の様子がおかしくなった。手先が震え顔がひきつり、椅子を後にずらし出した。まるで追い詰められた人のよい気弱な老人の姿であった。職務に忠実なあまり、少し度を過ぎてしまった。それが行政側から見た事件の真相だったのではないか。この医師もまた、医療行政の犠牲者の一人なのではないか。

（エピソード） 私たちは呼びかける。川腰医師よ、あなたの死は多くのことを私たちに教えてくれた。私たちはあなたが大切にしようとしたものを決して忘れはしないだろう。そして戦い続けていくだろう。すべての医師や歯科医師が、本心に納得のゆく医療ができるように。すべての国民がいつでも安心して医療を受けられるように。

# 黄色いハガキに寄せられた事例

## 《事例91》社会保険

左耳垢栓塞 左外耳道炎の病名で耳垢栓塞除去と耳処置(+処置薬剤)を算定したところ、耳処置が査定された。

### 《主治医の意見》

耳鼻科の会合で国保の審査委員の先生より、従来、耳垢栓塞除去と耳処置は同時に算定できなかったが、それぞれ必要な病名があれば算定できるようになったとの連絡があったと思いますが、反対側の場合のみOKで、耳垢栓塞除去と耳処置が同側の場合は不可なのでしょうか？ それとも社保と国保で基準が違うのでしょうか？

### 《コメント》

左耳に耳垢栓塞除去(複雑なもの)、右耳に耳処置であれば、各々に病名が明記されている限り同時算定可能で、計122点となります。左耳に耳垢栓塞除去と耳処置を同時に算定した場合には、100点のみ算定します。ご承知のとおり、耳処置だけの場合は片側であれ両側であれ、22点のみ算定します。社保と国保で基準が違っているわけはありません。

## 《事例92》

社保・国保共に院外処方箋を発行した場合、同一月内では、時間外・日曜日以外は院内で処方した場合、院内処方箋料が認められていない。

### 《主治医の意見》

処方箋料は院外・院内であろうとも、その処方箋料が高かろうが、安かろうが、医師としての報酬のはずである。同一月内に院内で出した場合、技術料を認めないというのは賦におちない。他県では認めているようなので、認めてもらえるようすすめてほしい。

### 《コメント》

同一月の場合は、時間外や日曜日以外は認められないのが現状です。月が替われば、院内処方に戻して構わないとされています。現場の声をもっと聞いてほしい、という先生のご意見はごもっともなのですが、急には変わらないようです。情報では、次回の診療報酬改定で、院内処方料がアップされるとのことです。院内処方を出しているため、院外処方箋を無料で発行できないかと考えたくなりますが、これは認められていません。

# サイコロジックショート・ショート

マインドコントロール(その5)

## ローボール・テクニク

O・ひろし

五年も乗った車を、百万円で下取りすると言うので、新車を買う気になった。口約束をしてから二、三日してセールスが、あの下取りの見積りは間違っていたと言ってきた。「すみません。あの下取り車は全然、傷んでない

のですが、なにしろ、モデルチェンジで年式が変わってしまっ。あの型は古いので、本社から下取り価格は二十万が限度だといってきました。恐れ入りますが、この契約はキャンセルしてもらえませんか？

私は、もう、その「新車」に乗るつもりでいたので、街でその型の車が見ると親しみさえ感じていた。いまさら、別の車を買えといっても、そんなことはしたくない。

「いや、下取りは二十万で結構です。支払いが八十万高くなっても、そのまま、この車を買うことにします」

私は、八十万円も安く新車を買うはずでしたが、やっぱり、世間並みの値段で買わされることになった。

これが、『ローボール・テクニク』である。このように、「良い条件」で交渉を進め、途中でその「良い条件」を引っ込めるやり方を言うのである。物事は、一度、そう決めると、心理的になかなか変えられないものである。この一貫性を利用して、セールスマンは活躍する。

ドライブ中、『リッター100円』と書かれた看板があったので、そのガソリン・スタンドに止まると、「お客さん、円安で、昨日から百五十円なんですよ」こんな話、ありそうじゃないですか。

◆参考文献  
『影響力の武器』INFLUENCE Science and Practice 一九八八  
ロバート・B・チャルディーニ著、社会行動研究会訳 誠信書房

# 台風もなんのその

北山吉明(金沢市/整形・皮膚科)

## 第23回秋のレクリエーション スーパースワールドと福岡フリーツアー

九州福岡の人気テーマパーク「スーパースワールド」を中心にフリータイムをふんだんに取り入れた今回の旅行は、近年にない人気で予想以上の参加者となりました。

私も職員・家族を伴って参加しました。

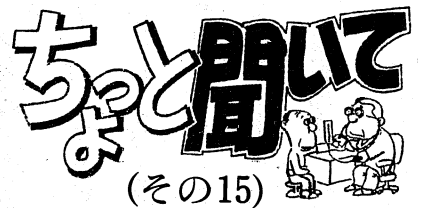
ところが台風十四号が旅行の日程に合わせて九州を直撃すると、ニューアスが耳に入ってきました。案の定、小松出発時は穏やかだった空模様も、福岡着陸のころには大雨と変わっており、楽しい気分が一気に水浸し。出発早々からなんと暗い雰囲気になってしまったが、本当に真っ暗になったのは遊園地に着いた時でし

た。世の中に寂しいものは数々あれど、雨風の遊園地に勝るものは見当たりません。呼び物のジェットコースター、フリーフォールなどはすべてお休み。園内は死んだように静まり返り、風と雨の音だけが徘徊していました。もうどこをどう探しても沈んだ気持ちを慰める言葉は見つかりません。ようやく見つけたのは「本場の台風なんて金沢じゃ滅多に見れない」の一言。

ところが、どんな試合でも勝ちを諦めた瞬間に体の力が抜けて奇跡的な逆転勝利を納めることがあります。これ以降、われわれの旅にも陽が差しはじめました。

園内に入ってみると館内の乗り物や催し物は待ち時間ゼロの貸し切り状態。屋内ジェットコースターは女房と二人っきりのランデブー状態。台風はいつの間にか進路を変え、暴風雨ならぬ小雨の博多の夜は初秋のロマンチックさに満ちあふれていました。美味しいふぐ料理とラーメンでお腹を満たし、久々の友人夫妻と聴いたナンシー・ウィルソンのジャズライブ。何もかも素敵で一生の思い出となりました。

翌日は台風一過の青空に恵まれ、博多湾を取り巻くベイサイドプレイス、マリンワールド(水族館)、福岡ドームなどを思いっきり満喫しました。みやげ物で重いバックを肩に、帰路の飛行機に乗るころには「いい旅だったね」とみんなでニコリ。協会事務局の杉野さんのホッとした横顔が印象的でした。



## ちっぽち聞いて (その15)

### 補聴器の患者さんには はっきり、ゆっくりお話を

牧野 總太郎  
(小松市・耳鼻咽喉科)

先生、補聴器をかけた老人に自分でもうんざりする大声で話していませんか。

わたしも耳鼻科の医者でありながら、つい焦って大声で話してしまい、それでも話が通じず、さらに大声を出してしまう時があります。少々の聞こえの悪い人では大声がよく話ができるから、ついこんなへまをやってしまうのです。

高齢者の難聴は内耳障害が主ですが、中枢神経系にまで機能の低下が及んでいることが多く、語音弁別は著しく悪いのです。言葉による自由なコミュニケーションをもつて、勘に頼るため、話の断片に反応し、周囲の人から度々誤解されるなどから会話から遠ざかり、ますます聞き分ける能力が低下します。そして孤独になって、猜疑(さいぎ)心も強くなり、性格は頑固になり、ついには痴呆になると言われます。

近年、補聴器の進歩は著しいのですが、その機

構は単なる増幅器であり、イヤホンで聞く小型の携帯用拡声器であることに変わりないのです。音を大きくすると、補聴器内の雑音が減少し、周囲雑音の減弱も工夫されていますが、雑音も出やすく、言葉の明瞭さそのものの改善はいまのところ期待できないのです。

老年になって聞こえが悪くなるような中途失聴者では、なんとか言葉によるコミュニケーションを得ようとして補聴器を使用するのですが、音はよく聞こえても言葉が分からないのです。

とかく耳の不自由な患者さんは、医師が話しかけても聞いてないのやら、聞かえないのやら、自分ばかりの話で診療が進まない。それでどこでも敬遠されがちです。補聴器をかけた患者さんが見えたら、まず、腰を落着けて、はっきり、ゆっくり話し掛けてあげて下さい。あまりの大声はかえって聞こえにくいことを肝に銘じて...

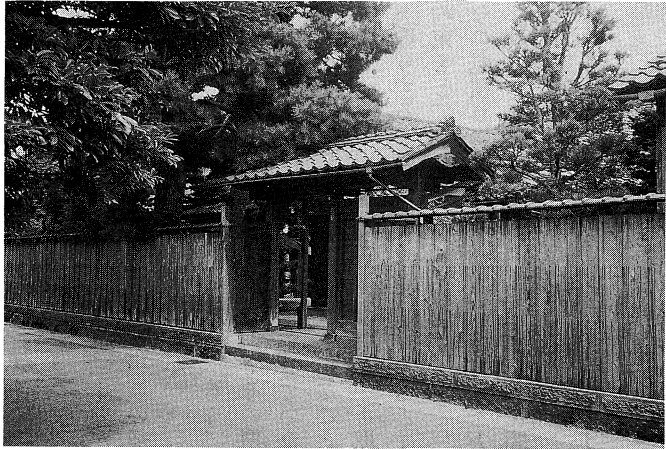
# 石川県医事文化史跡めぐり

● 6 ●

## 大聖寺藩医学の栄光

— 蘭方医渡辺卯三郎旧宅 —

多留淳文 (日本医史学会評議員) 金沢市・内科



渡辺卯三郎旧宅 (加賀市仲町2. 山口順一氏邸)

大聖寺藩は加賀藩の支藩で十萬石であったが、本家に劣らず好学の藩主が続き、高い文化水準を保った。名君の下に名医あり。大聖寺は名医を輩出、中でも郷土の内外ともに偉大な足跡を残した蘭方医渡辺卯三郎は特筆に値する。

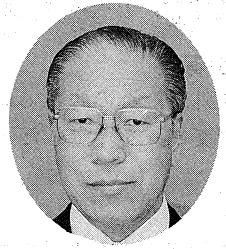
渡辺卯三郎 (一八三二—一八八一) は、大聖寺藩医渡辺八百助 (無覚) の長男として越前町に生まれた。始め経世家東山芝山に師事、次いで金沢の黒川良安に蘭学を学んだ。嘉永元年 (一八四八) 大

阪の緒方洪庵の適塾に入門、五年後には塾頭に抜擢された。その間に長崎に遊学している。適塾塾頭就任は大聖寺の栄誉といえよう。安政元年 (一八五四) には父の病氣のため帰郷したが、洪庵は二児を卯三郎に托した。安政三年、大聖寺藩医に

出仕した後、慶応二年 (一八六六) 長崎に再度留学 (ボードウィンらに学ぶ) したり、明治四年 (一八七一) から金沢医学館のスロイスと親交を結ぶなど、生涯、学習を怠らなかつた。

郷里の大聖寺における卯三郎の功績は、金沢病院 (金大病院の前身) 大聖寺分院 (加賀中央病院の前身) の創立に尽力したことである。初代院長に黒川良安の甥、稲坂謙吉 (金沢医学館第一回生) を招いた。卯三郎の旧宅が稲坂内科医院の真向かいに現存する。墓碑は加賀市神明町の本光寺から歩いて十五分の石堂山の墓地にある。この稿を草するに当たり、加藤豊明・牧野隆信両先生の報文を参考にした。

# 有限会社 ヒポクラテス設立にあたって



会員各位におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、これまで石川県保険医協会は、会員の福利厚生発展のために、鋭意努力を重ねて参りましたが、この度、さらに活動の枠を広げるため、標記の有限会社を設立する運びとなりました。

これまで保険医協会の共済制度としては、「休業保障制度」「グループ保険」「保険医年金」「年金担保融資」などを実施して参りましたが、今後は新会社にて「第二休業保障制度 (所得補償制度)」をはじめ、各種損害保険の取り扱い、医療機器や医療用消耗品などの販売斡旋、そのほか会員のニーズにこたえるため、業務を拡大していく所存でございます。(会社設立概要を参照下さい)

なお、新会社では、保険医協会と一体になった業務運営を行い、会員の一層の福利厚生の増進に努めて行きたいと考えています。会員の皆様におかれましては、保険医協会ともども、さらなるご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

一九九五年十月一日

有限会社 ヒポクラテス

代表取締役 高松弘明

(石川県保険医協会会長)

## 有限会社 ヒポクラテス 設立概要

- 一、資本金 三百万円
- 二、会社設立年月日 一九九五年九月一日
- 三、会社設立場所 金沢市尾張町一丁目九番十一号 尾張町レジデンス二〇二号室 電話 〇七六二 (二二二) 五三七三 FAX 〇七六二 (三三三) 五一五六 (保険医協会事務所内)
- 四、役員
  - 代表取締役 高松弘明 (協会会長)
  - 取締役 勝木育夫 (副会長)
  - 井沢宏夫 (経営・共済部長)
  - 神田順一 (事務局長)
  - 西田直巳 (財政部長)
- 五、取扱い業務
  - ① 損害保険代理業
  - ② 生命保険の募集に関する業務
  - ③ 医薬品、医療機器、医療用消耗品、化粧品の販売斡旋
  - ④ 特別管理産業廃棄物の処理業務の斡旋
  - ⑤ 電気通信機器の販売
  - ⑥ 図書の販売
  - ⑦ 出版及び印刷業
  - ⑧ 前各号に附帯関連する一切の業務

### 〈ご案内〉

#### 第三回職員雇用に関する懇談会

テーマ 院長として知っておきたい 職場環境づくりのポイント

講師 久乗務務管理事務所所長 久乗政勝氏

助言者 石川県保険医協会顧問税理士 中村栄希氏

とき 十一月十一日(土) 午後七時～午後九時

ところ 金沢都ホテル 7階「飛翔の間」

参加対象 会員及び会員家族

※事前に参加申し込みが必要です。

○詳しくは案内チラシをご覧ください。

### 秋の食へ歩き会のご案内

とき 十一月十四日(火) 午後七時半

ところ 浜長 金沢市片町二丁目二十七の二十四 〇七六二 (33) 3390

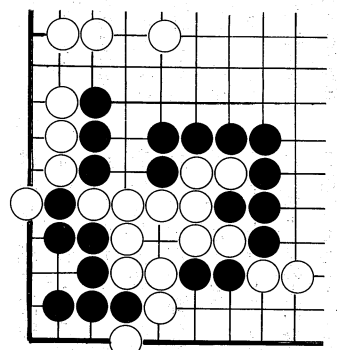
参加費 お一人様 一二、〇〇〇円

定員 十五人様

◎参加申し込みは十一月六日までに

お電話で協会まで 〇七六二 (22) 5373

碁 出題者 向井富治 (金沢市・内科) 七段



乗岡栄一六段のパソコン通信碁に現れました。白番です。